



土地条件・空気環境を改善する電子活性炭

MEC-9号炭素

MARUKO ELECTRON CARBON

MEC-9号炭素とは

「MEC-9号炭素」はより良い生活環境や生産向上を高めるためにつくられた環境改善電子活性炭素です。当社が開発した特殊乾留炉において800℃～820℃の安定した高温で炭化した特殊な性質をもつ炭素です。

他の木質系炭素に比べ、はるかに高温で炭化され、微細な多孔質構造なので、吸着性、通気性に優れています。高度の硬度をもつ繊維粉炭なので良好な硬化体の組織を形成し、長期にわたって強度な耐久性を発揮します。又、アルカリ性であり、有害な酸性障害をなくし、地下より発生するメタンガス等の中和作用を持っています。比重が重いため普通の炭の粉とちがい、水和形成を良くし緊密にからみ、硬化体中の微構造の凝集力を向上させ、空隙が出来ません。

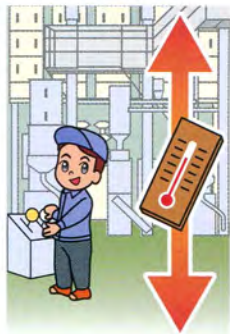
また、土間の表面温度や湿度を調整、安定させ四季を通じて土壌や土間環境を調整する働きも持っています。品質のバラツキがなく、環境改善資材として、優れた特性も持っています。



炭素があれば より電磁場が強くなる

(土地条件・空気環境)

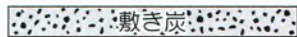
冬暖かく夏涼しい環境に



- 天井と床の温度差が少なくなります。
- 温度差が少なくなることで底冷えしなくなり、働く人々の健康に役立ちます。

炭素土間

又は



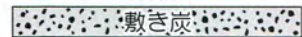
空気浄化作用が有ります



- 脱臭効果があり、室内の空気をクリーンにします。
- 地下より発生するメタンガス等を中和する働きが強くなります。

炭素土間

又は



高電位な環境にします



- 地力が高まり、健康的でトラブルの少ない土地条件になります。
- 植物の生育が良く、花や実が良くつき、作物等の収穫量が増えます。

炭素埋設

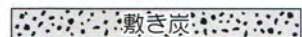
結露やカビを抑えます



- カラッとした敷地環境を作るので結露やカビの発生を抑えます。
- 湿度調整作用が有りますので室内の結露を防止して、カビなどの発生を抑えます。

炭素土間

又は



電気設備の安全性が向上



- 敷地の接地抵抗（インピーダンス）が低下します。
- 機械設備等のアース電流が大地に流れやすくなります。
- 雷などによる地下のサージ電流を流しやすくし、避雷対策にもなります。

炭素埋設

雑菌や害虫を抑えます



- カラッとした空気環境は雑菌や菌類の繁殖を抑えます。
- 電磁場の強い環境は虫類・昆虫類に忌避作用を与えますので、害虫の侵入・発生が少なくなります。

炭素埋設

※接地抵抗の低下は土地条件によって差があります。

電磁場修正 炭素埋設



工場・住宅・製造環境を健康・衛生的な環境に改善できます。

工場や住宅・店舗等の敷地、建物内に直径1m、深さ1.5mの丸い穴を数箇所掘り、そこにMEC-9号炭素を埋設して電磁場を修正し、大地電気と大気電気のバランスを作って健康・衛生的な土地環境への改善を行うものです。

炭素埋設の特徴

- 敷地の接地抵抗（インピーダンス）を低下させます。
- 大気と大地の電磁界の流れを整流化します。
- 配電盤電気回路、設備電気回路装置のトラブルや短命化を抑えます。
- 動力の力率が向上し、機械運転の効率が良くなります。
- 地下サージ電流を流しやすくしますので、避雷対策になります。
- 植物の生育が良くなり、物質は酸化しにくく耐久性が向上します。
- 敷地の悪臭・雑菌や害虫などが減少します。
- 清潔で活力のある土地環境を持続的に保持できます。

電磁場とは

地球の南北には磁力線が、東西には電気力線が走っていて、その交差している地点を電磁場と言います。炭素埋設された環境は電磁場が強くなり、電磁場の強い場所は、それだけその土地や物質から⊖電子が逃げにくく、周辺から⊖電子が集まってきます。

また、炭素埋設の施工場所に⊖電子の不足した食品の原料や製品、動植物を持ちこむと⊖電子が付加されて「還元」し、食品等に本来の良さが戻ってきます。この様な場所を電磁場の良い土地（または磁場が良い）と言い、炭素埋設によって食品原料や製品等にやさしい環境を確立することが出来ます。

お考えになりませんか—— 活力が出る健康な土地

住宅敷地に炭素埋設



店舗敷地に炭素埋設



工場敷地に炭素埋設



炭素埋設とは

食品工場における電磁気的條件を整備し、かつ安全で衛生的な製造環境を構築するためには、工場敷地や床下の大地への炭素埋設の基本的工事が必須となります。工場は土地条件が一番大切です。地球上の大地表面には、通常、微弱な電位差を示す電区があり、また、一定の電位構成があります。自然の条件を人為的に変えて、建造物を建てたり、大地にいろいろ穴を掘ることによって、その土地に大きな電位差(損傷電位)を発生させ、その周辺の自然の電位構成を変えてしまいます。その為に様々な影響やトラブルが発生します。

住宅や工場や作業所の要所に炭素埋設を行い、その土地の電位構成を修正することによって、電磁場が安定し、その状態を持続的に保つことができますようになります。



水と空気と大地の相関関係

土地環境が良くなると周辺の空気が良くなります。
空気が良くなると水も良くなります。

大地の整備

大地と大気空間との間には相対的に電位差が生じています。雷の発生時には高電位が生じ、電流と磁界が発生します。その発生は不規則であり場所によって様ではありません。また電氣的機械装置の設備時には大地にアース電極を挿入しアースをとり、電氣的な接地回路を設けます。接地抵抗ゼロΩが理想ですが現実にはそうはいきません。20Ω~70Ω程度以上になっている場合が見られます。接地抵抗が大きいと、その電気回路に雷やその他を制御する基本的工事が必須になります。

雷などの電磁気的な外乱で瞬間生じた高電磁界により高電流が発生し、逃げ場を失った一部の電流が配電盤や電気制御装置内に滞留し、装置内の電気回路を破壊する事態に発展します。この様なことが繰り返されると電氣的機械装置の短命化につながります。これを避ける手立てが大地への炭素埋設です。接地抵抗をA種10Ω以下にし、大地と空間に生じる電磁界の流れを整流化することが重要です。前述のような劣勢の事態をさげ、大地を炭素埋設で整備することで、上記電磁気的整備のみならず衛生的にも環境が改善され、安全で健康的な環境が整備されます。

また大気環境整備のためのMDA電子シャワー装置など、MDA装置の動きを良くするためにも炭素埋設大地や土間の整備が必須になります。

炭素埋設の仕方

大地電気を安定させる方法として敷地の要所に図.1に従って穴を掘り、高純度の炭素(MEC-9号炭素)を地中に埋設します。一度施工すると長年月にわたってその効果を持続的に保つことができます。

図.1 炭素埋設断面図

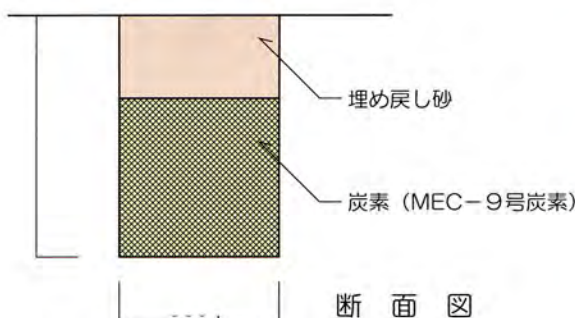
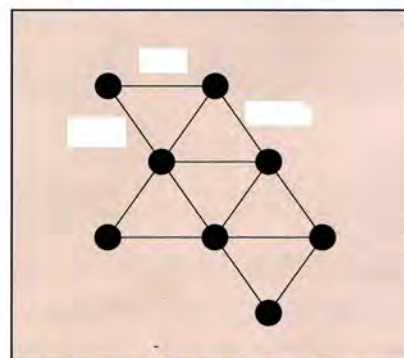


図.2 敷地が広い場合



敷地が広い場合は、図の様に一辺を正三角形に拡大します。